

日本板硝子が25/3期通期業績予想を修正 直ちに格付に影響せず、今後の利益・財務の回復を注視

以下は、日本板硝子株式会社（証券コード：5202）の25/3期通期業績予想の修正を公表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は2月7日付けで、25/3期通期業績予想の修正を公表した。修正後の営業利益は160億円（修正前：260億円）、親会社の所有者に帰属する当期損失は170億円（修正前：0億円）である。これは、①欧州経済の減速が続いており、需要の大きな回復が見込まれないこと、②自動車用ガラス事業のドイツにおける生産体制の見直しにともない個別開示項目費用を計上すること一が主要因である。また、25/3期第3四半期末の親会社の所有者に帰属する持分は1,201億円（前期末：1,242億円）、親会社所有者帰属持分比率11.7%（同：12.3%）であり、財務基盤の改善余地が大きい状況が続いている。
- (2) 今般、業績予想の修正をしたものの、欧州において生産体制の見直しや付加価値製品の強化などを進めていることから、本修正を以って、直ちに格付を見直す必要はないとみている。ただし、利益回復が進まず、財務基盤が改善していかないようであれば、格下げ圧力が一段と強まると考えられる。今後JCRでは、欧州の立て直しなどにより利益回復を着実に進め、財務基盤を改善していけるか注視していく。

（担当）井上 肇・下田 泰弘

【参考】

発行体：日本板硝子株式会社

長期発行体格付：BB+

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル